
鳴門市 男女共同参画に関する 中学生アンケート調査

－ 報告書 －

令和7（2025）年8月
徳島県 鳴門市

～ 目 次 ～

I 調査の概要	1
II 回答者の属性	2
1 学年	2
2 性別	2
III 調査結果	3
1 男女共同参画社会の認知状況	3
2 男女の役割分担等について	4
3 男女の平等意識	6
4 性別を意識した周囲からの発言の有無	8
5 性別を意識した発言の内容	9
6 性別を意識した発言をされたときの気持ち	11
7 希望する進路	12
8 文系・理系タイプ	14
9 望ましいと思う女性の働き方	15
10 男女共同参画に関する用語の認知状況	16
11 性に関して悩んだ経験の有無	18
12 男女共同参画社会について（自由記述回答）	19
資料 調査票	21

I 調査の概要

【調査の目的】

本調査は「第4次鳴門市男女行動計画」の策定にあたって、中学生における男女共同参画に関する意識や実態、意見等を調査し、今後の計画づくりのための基礎資料とすることを目的として実施した。

【調査対象】

市内の中学校に在学する生徒

【調査方法】

各学校を通して配布、インターネットによる回答

【調査期間】

令和7（2025）年7月

【回収結果】

配布数 ----- 1,112 件

有効回収数 ----- 943 件

有効回収率 ----- 84.8%

【報告書の見方について】

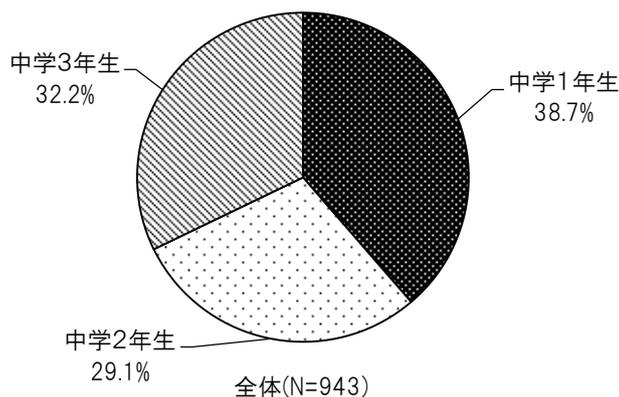
- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。そのため、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を可能とした（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数（標本数）である。全標本数を示す「全体」を「N」、「該当数」を「n」で表記している。
- (4) 図表中における性別などのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答者を除いて表記しているため、属性ごとの基数の合計と全体の基数は同じにならない場合がある。
- (5) 図表中においては見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値（例：0.0%、0.1%など）は、図と干渉して見えにくい場合などに省略している場合がある。また、複数回答の図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合の高い順に並べ替えて表記している場合がある。
- (6) 上記のほか、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載した。

II 回答者の属性

1 学年

問1 あなたの学年をお答えください。（回答は1つ）

回答者の学年別構成比は、「中学1年生」の割合が38.7%と最も高く、次いで「中学3年生」が32.2%、「中学2年生」が29.1%となっている。

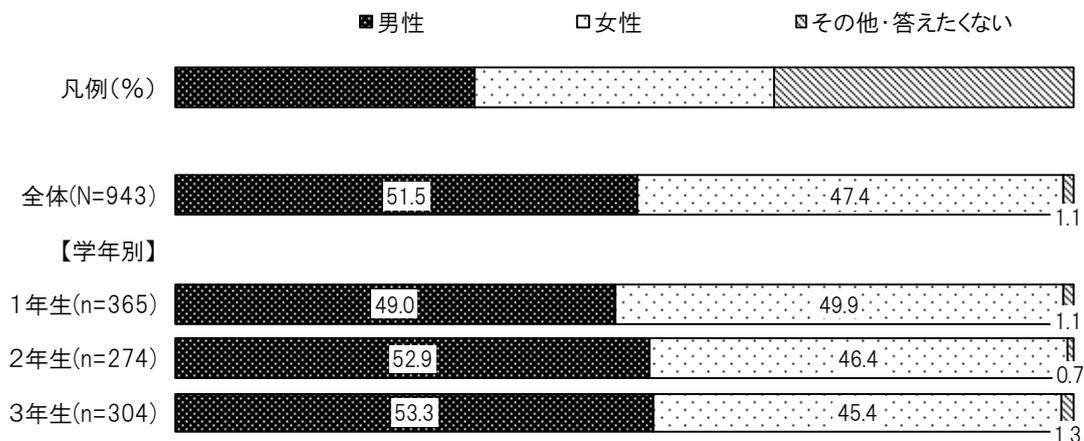


2 性別

問2 あなたの性別をお答えください。（回答は1つ）

回答者の性別構成比は、「男性」が51.5%、「女性」が47.4%と、男性の割合が女性をやや上回っている。

学年別では、2年生や3年生で「男性」の割合が「女性」を上回っている。



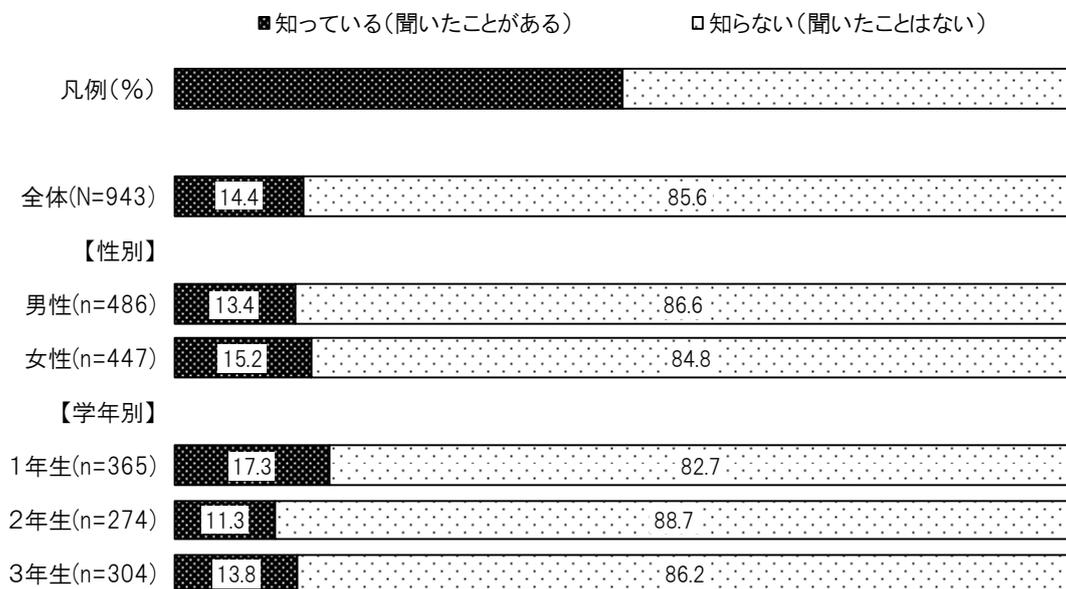
Ⅲ 調査結果

1 男女共同参画社会の認知状況

問3 あなたは「男女共同参画社会」という言葉を知っていましたか。又は聞いたことがありましたか。（回答は1つ）

男女共同参画社会の認知状況については、「知っている（聞いたことがある）」が14.4%、「知らない（聞いたことはない）」が85.6%となっている。

性別では大きな差はみられないが、学年別では1年生で「知っている（聞いたことがある）」の割合が他の学年に比べてやや高くなっている。

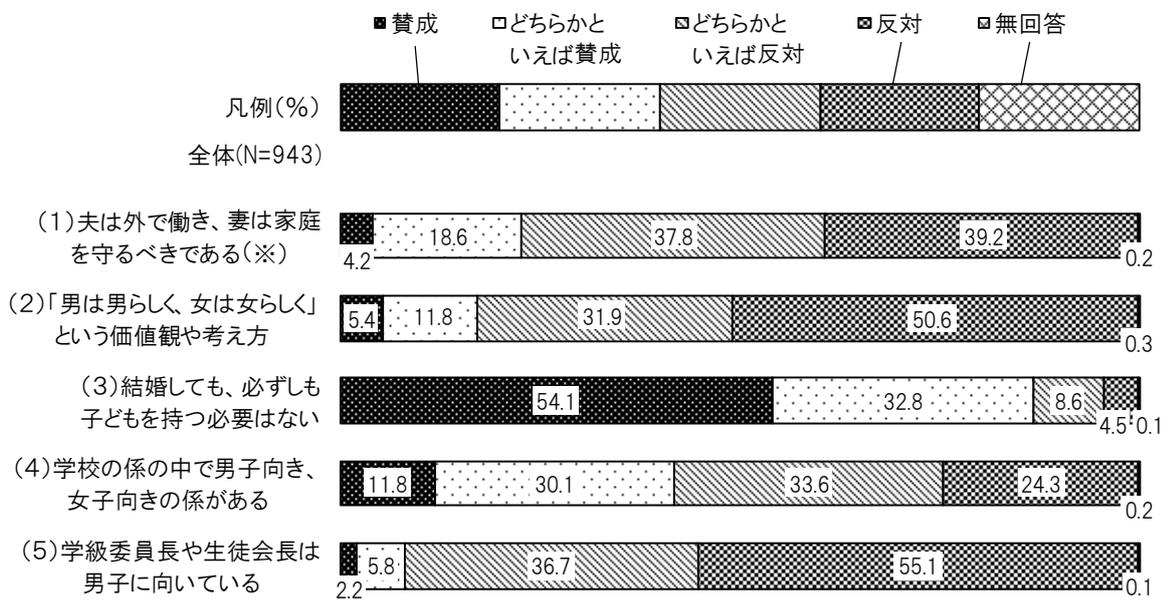


2 男女の役割分担等について

問4 あなたは、次の考え方について、どのように思いますか。（回答は1つずつ）

男女の役割分担等については、「賛成」と「どちらかといえば賛成」を合計した割合が高い順に、「(3)結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない」(86.9%)、「(4)学校の係の中で男子向き、女子向きの係がある」(41.9%)となっている。

一方、「反対」と「どちらかといえば反対」を合計した割合が高い順に、「(5)学級委員長や生徒会長は男子に向いている」(91.8%)、「(2)男は男らしく、女は女らしくという価値観や考え方」(82.5%)、「(1)夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」(77.0%)となっている。



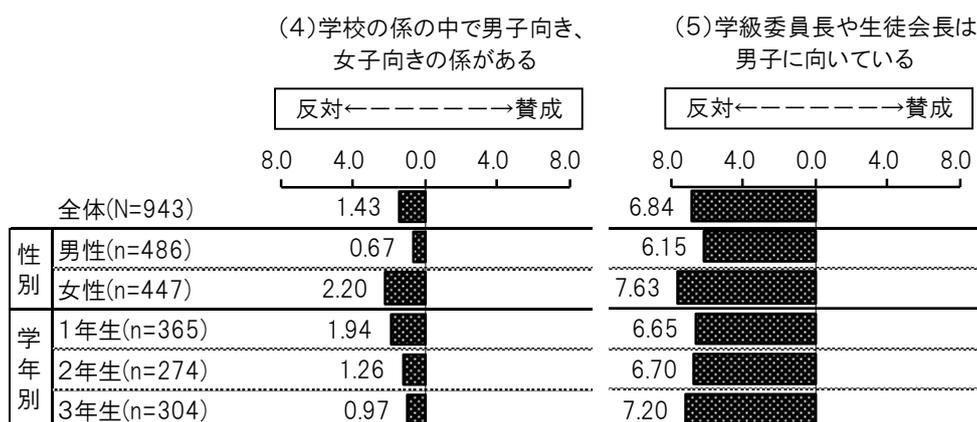
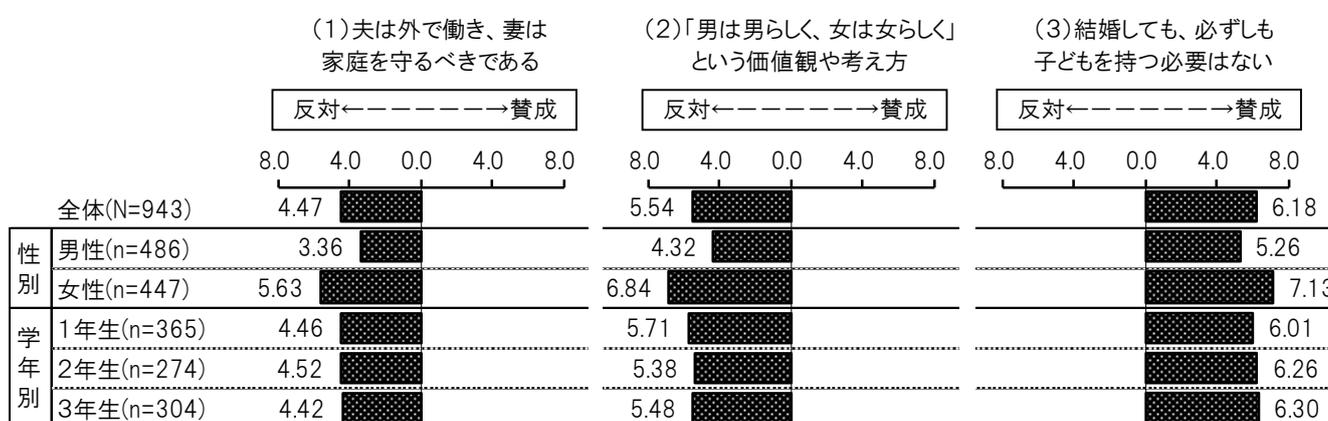
※ (1) 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである（「男は仕事、女は家庭（家事・育児など）」という考え方）

平均評定値※による属性別傾向をみると、女性は「(1) 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」「(2) 男は男らしく、女は女らしくという価値観や考え方」で「反対」、
「(3) 結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない」で「賛成」がそれぞれ男性を大きく上回っている。

学年別でみると、1年生では「(4) 学校の係の中で男子向き、女子向きの係がある」で「反対」、3年生では「(5) 学級委員長や生徒会長は男子に向いている」で「反対」がそれぞれ他の学年に比べて高くなっている。

※ 平均評定値

平均評定値とは、「賛成」「反対」に10点、「どちらかといえば賛成」「どちらかといえば反対」に5点の係数を、それぞれの回答件数に乘じ、加重平均して算出した値で、グラフ上では0を中心として左側が反対、右側が賛成を示す指標である。

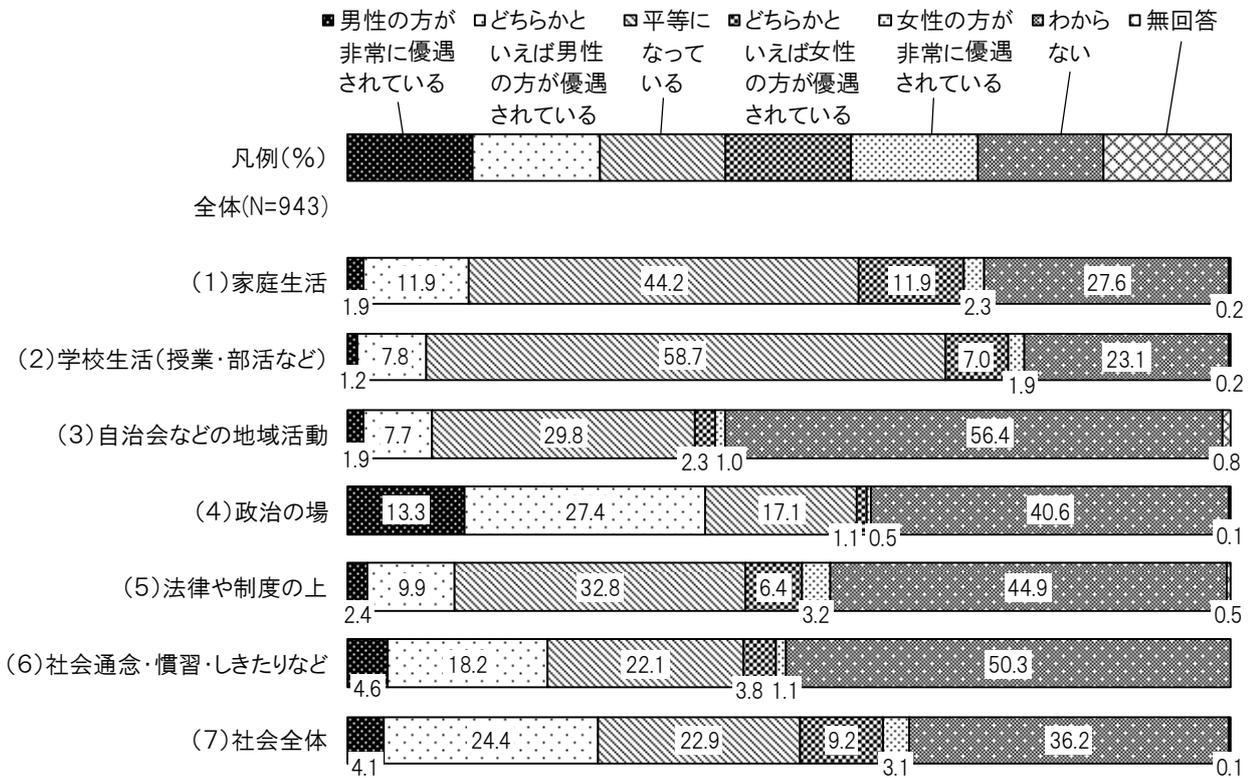


3 男女の平等意識

問5 あなたは、次の分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。次の(1)から(7)までの項目についてお答えください。(回答は1つずつ)

男女の平等意識については、「平等になっている」の割合が高い順に「(2) 学校生活(授業・部活など)」(58.7%)、「(1) 家庭生活」(44.2%)となっている。

また、『男性優遇』(「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の合計)の割合が高い順に、「(4) 政治の場」(40.7%)、「(7) 社会全体」(28.5%)、「(6) 社会通念・慣習・しきたりなど」(22.8%)となっている。「(1) 家庭生活」については、『女性優遇』(「女性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の合計)の割合(14.2%)が『男性優遇』の割合(13.8%)を上回っている。

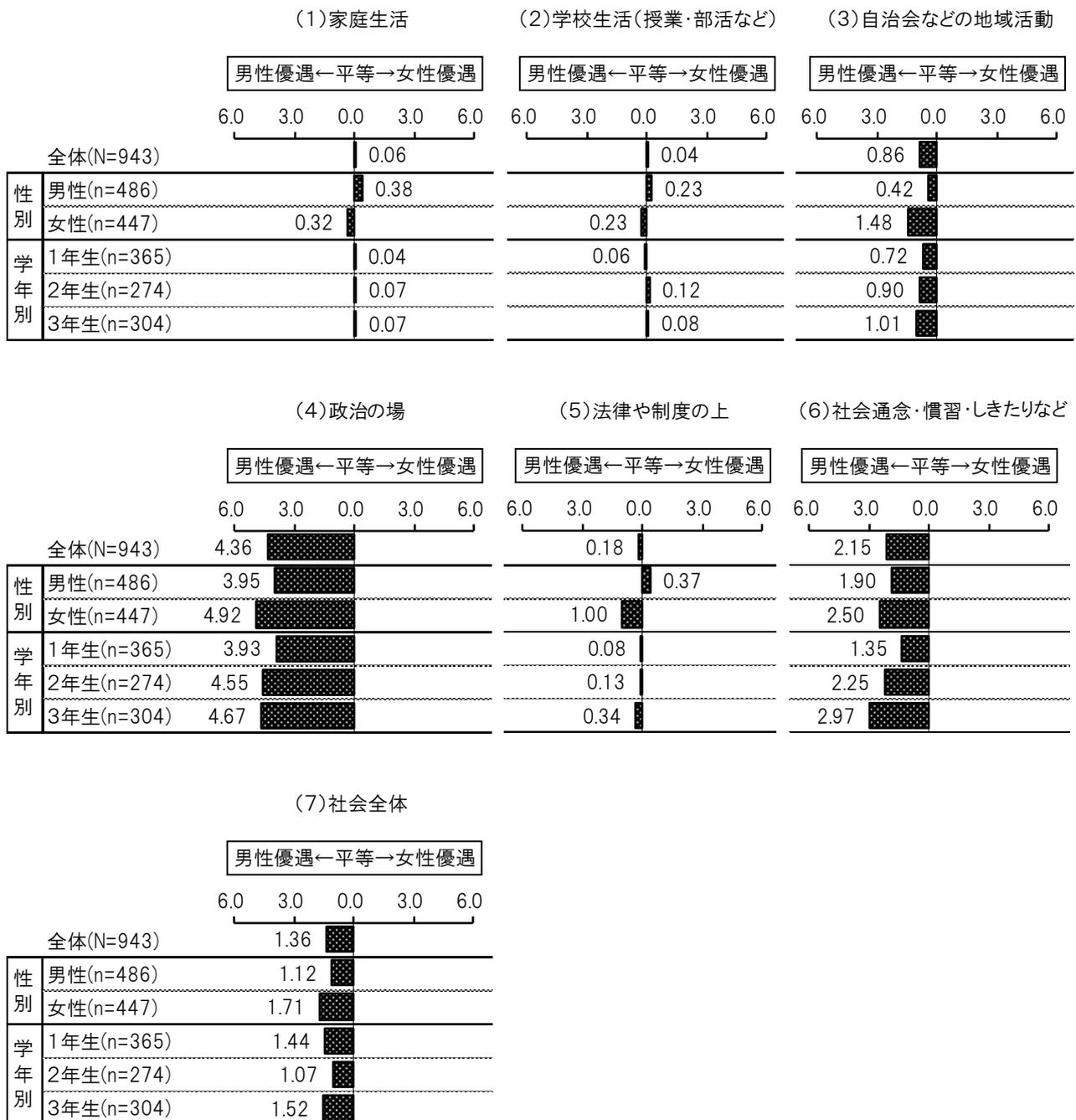


平均評定値※による属性別傾向をみると、女性は「(3) 自治会などの地域活動」「(4) 政治の場」「(5) 法律や制度の上」などで『男性優遇』意識が高くなっている。

学年別でみると、学年が上がるほど「(3) 自治会などの地域活動」「(4) 政治の場」「(6) 社会通念・慣習・しきたりなど」で『男性優遇』意識が高くなっている。

※ 平均評定値

平均評定値とは、男性、女性それぞれについて「非常に優遇されている」に10点、「どちらかといえば優遇されている」に5点、「平等になっている」に0点の係数を、それぞれの回答件数に乘じ加重平均して算出した値で、グラフ上では0を中心として左側が男性優遇、右側が女性優遇、0に近いほど平等を示す指標である。



4 性別を意識した周囲からの発言の有無

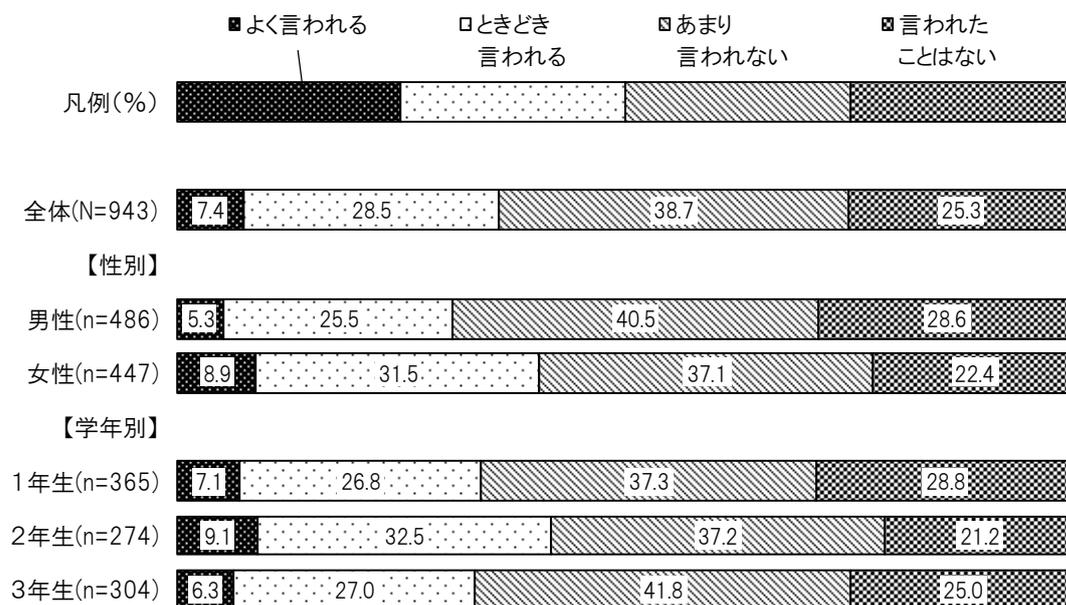
問6 あなたは、大人から「男だから〇〇しなさい」や「女だから〇〇しなさい」のように言われたことがありますか。（回答は1つ）

性別を意識した周囲からの発言については、「よく言われる」が7.4%、「ときどき言われる」が28.5%、合計で35.9%が『言われる』と回答している。一方、「あまり言われな

い」(38.7%)、「言われたことはない」(25.3%)の合計は64.0%となっている。

性別では、女性は『言われる（合計）』の割合が男性を大きく上回っている。

学年別では、2年生で『言われる（合計）』の割合が他の学年に比べて高くなっている。



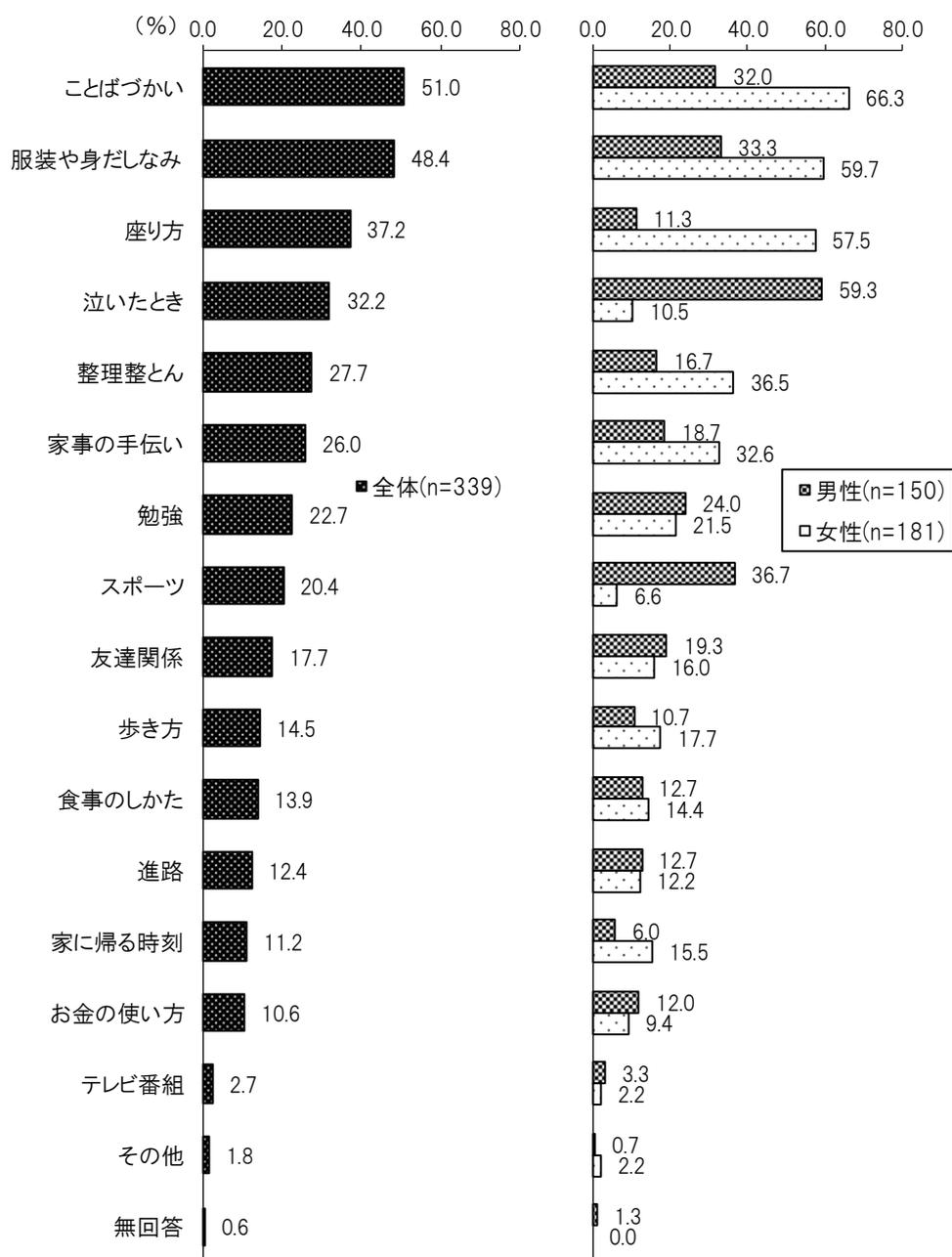
5 性別を意識した発言の内容

【問6で「1～2（言われる）」と答えた方におたずねします。】

問7 どのようなことについて言われたことがありますか。（回答はあてはまるもの全て）

性別を意識した発言の内容については、「ことばづかい」の割合が51.0%と最も高く、次いで「服装や身だしなみ」(48.4%)、「座り方」(37.2%)、「泣いたとき」(32.2%)、「整理整とん」(27.7%)の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「泣いたとき」「スポーツ」の割合が高く、女性は「ことばづかい」「服装や身だしなみ」「座り方」「整理整とん」「家事の手伝い」など男性を大きく上回る項目が多岐にわたっている。



学年別では、1年生や2年生で「ことばづかい」「服装や身だしなみ」「座り方」、2年生で「家事の手伝い」「友達関係」「食事のしかた」、3年生で「家に帰る時刻」の割合がそれぞれ他の学年に比べて高くなっている。

単位 (%)	ことばづかい	服装や身だしなみ	座り方	泣いたとき	整理整頓	家事の手伝い	勉強	スポーツ	友達関係	歩き方	食事のしかた	進路	家に帰る時刻	お金の使い方	テレビ番組	その他
全体(n=339)	51.0	48.4	37.2	32.2	27.7	26.0	22.7	20.4	17.7	14.5	13.9	12.4	11.2	10.6	2.7	1.8
【学年別】																
1年生(n=124)	54.8	50.8	41.9	30.6	32.3	22.6	23.4	21.8	12.9	13.7	11.3	8.1	9.7	14.5	1.6	2.4
2年生(n=114)	55.3	51.8	40.4	36.0	27.2	33.3	28.9	21.9	23.7	16.7	22.8	16.7	10.5	12.3	5.3	1.8
3年生(n=101)	41.6	41.6	27.7	29.7	22.8	21.8	14.9	16.8	16.8	12.9	6.9	12.9	13.9	4.0	1.0	1.0

注：表中の「網掛け」は、各クロス集計（学年別など）において最も高い割合を示している。
 但し、回答割合が10%未満の項目及び「その他」については網掛けしていない。
 また「無回答」は表記から省略している。（本報告書においては、以下同様）

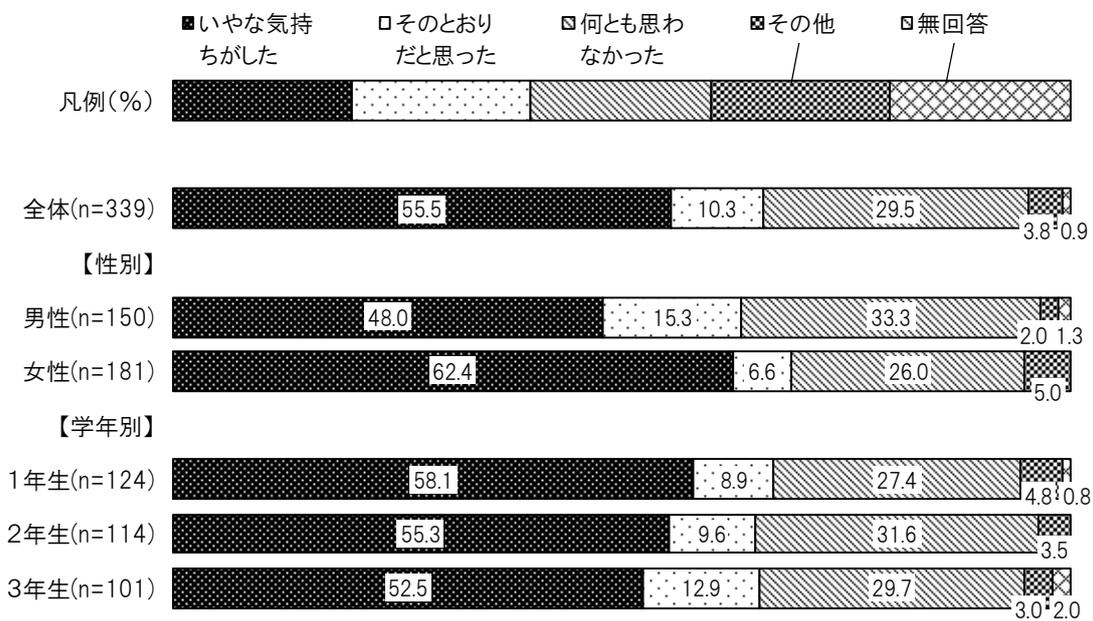
6 性別を意識した発言をされたときの気持ち

【問6で「1～2（言われる）」と答えた方におたずねします。】
 問8 あなたはその時どんな気持ちがありましたか。（回答は1つ）

性別を意識した発言をされたときの気持ちについては、「いやな気持ちでした」が55.5%、「そのとおりだと思った」が10.3%、「何とも思わなかった」が29.5%となっている。

性別では、女性は「いやな気持ちでした」の割合が男性を大きく上回っており、男性は女性に比べ「そのとおりだと思った」「何とも思わなかった」の割合が高くなっている。

学年別では、学年が低くなるほど「いやな気持ちでした」の割合が高く、学年が上がるほど「そのとおりだと思った」の割合が高くなっている。

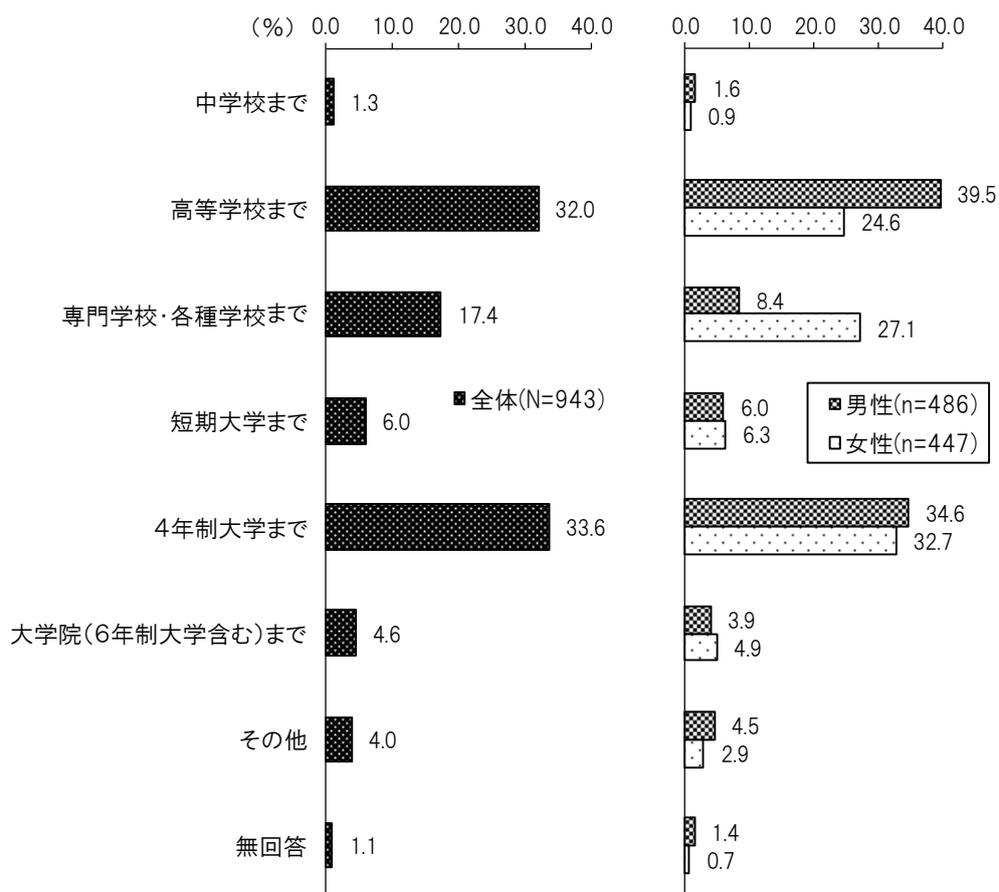


7 希望する進路

問9 あなたの希望する進路は次のうちどれですか。（回答は1つ）

希望する進路については、「4年制大学まで」の割合が33.6%と最も高く、次いで「高等学校まで」(32.0%)、「専門学校・各種学校まで」(17.4%)、「短期大学まで」(6.0%)の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「高等学校まで」の割合が高く、女性は「専門学校・各種学校まで」の割合が男性を大きく上回っている。



学年別では、1年生で「高等学校まで」、2年生で「専門学校・各種学校まで」、3年生で「4年制大学まで」の割合がそれぞれ他の学年に比べて高くなっている。

文系・理系タイプ別（問 10）では、文系タイプで「短期大学まで」、理系タイプで「4年制大学まで」、わからないと回答した層で「高等学校まで」の割合がそれぞれ他の層に比べて高くなっている。

単位 (%)	中学校まで	高等学校まで	専門学校・各種学校まで	短期大学まで	4年制大学まで	大学院（6年制大学含む）まで	その他
全体(N=943)	1.3	32.0	17.4	6.0	33.6	4.6	4.0
【学年別】							
1年生(n=365)	1.1	34.0	15.9	7.9	30.4	4.4	4.7
2年生(n=274)	2.6	31.0	20.8	3.6	31.0	4.7	5.5
3年生(n=304)	0.3	30.6	16.1	5.9	39.8	4.6	2.0
【文系・理系タイプ別】							
文系タイプ(n=250)	1.6	28.0	19.6	10.4	34.8	2.8	2.0
理系タイプ(n=309)	0.6	24.6	19.1	5.2	39.2	7.1	3.6
どちらともいえない(両方)(n=122)	0.8	32.0	15.6	6.6	34.4	5.7	2.5
わからない(n=259)	1.9	45.2	14.3	2.7	25.9	2.7	7.3

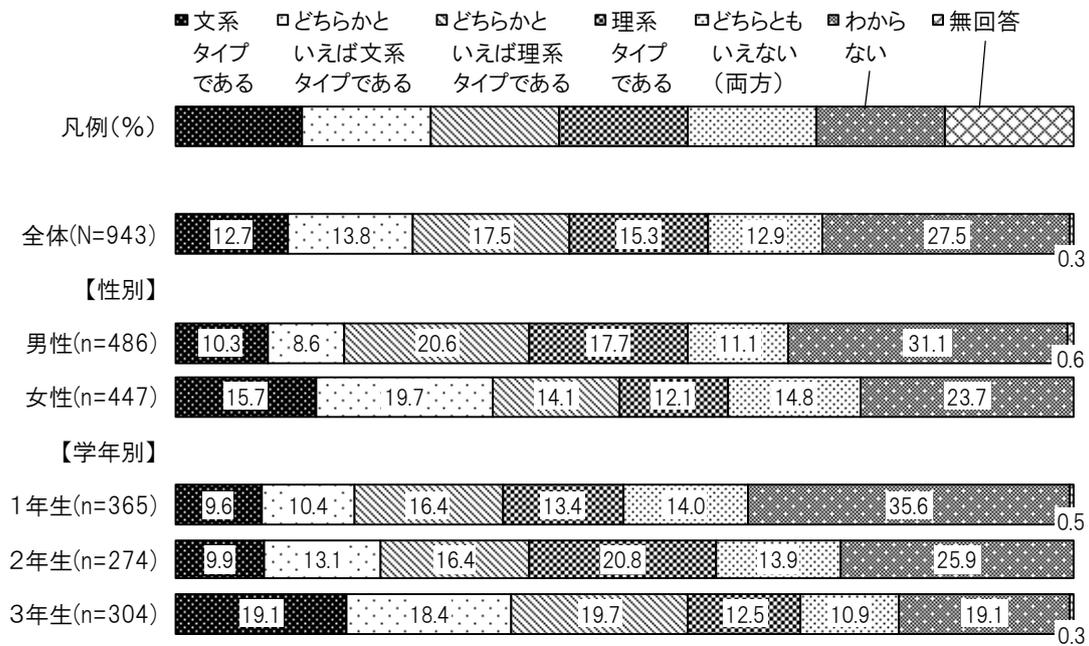
8 文系・理系タイプ

問10 あなたは自分のことを文系タイプだと思いますか、理系タイプだと思いますか。
(回答は1つ)

文系・理系タイプについては、「文系タイプである」が12.7%、「どちらかといえば文系タイプである」が13.8%、合計で26.5%が『文系タイプ』と回答している。一方、「理系タイプである」(15.3%)、「どちらかといえば理系タイプである」(17.5%)を合計した『理系タイプ』は32.8%となっている。一方、3割近く(27.5%)は「わからない」と回答している。

性別では、男性は女性に比べ『理系タイプ(合計)』『わからない』の割合が高く、女性は『文系タイプ(合計)』の割合が男性を大きく上回っている。

学年別では、3年生で『文系タイプ(合計)』の割合が他の学年を大きく上回っており、学年が低くなるほど「わからない」の割合が高くなっている。

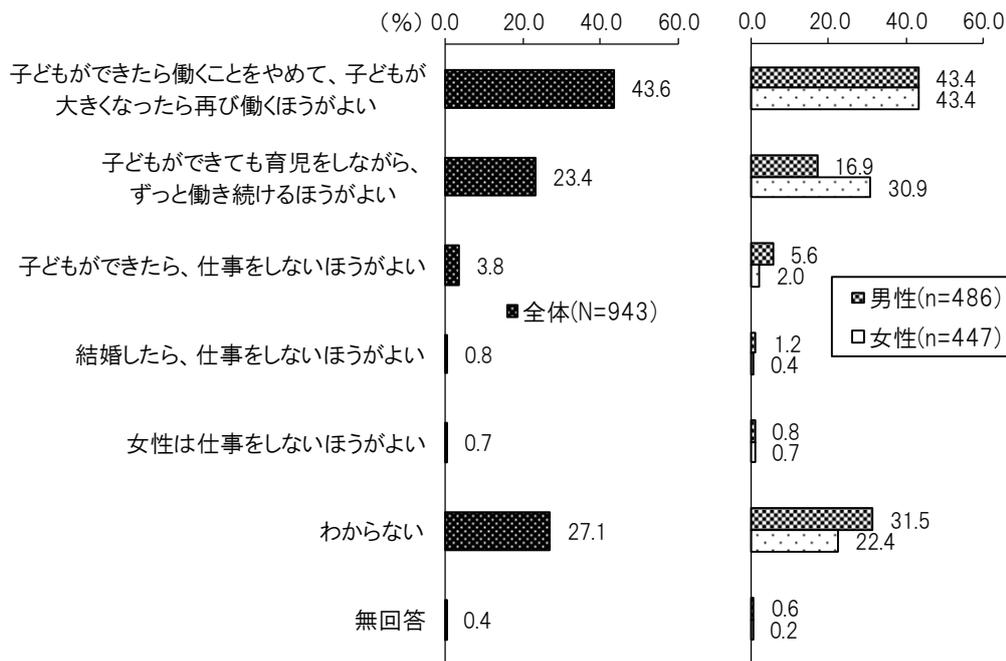


9 望ましいと思う女性の働き方

問 11 あなたは、どのような女性の働き方が望ましいと思いますか。（回答は1つ）

望ましいと思う女性の働き方については、「子どもができたら働くことをやめて、子どもが大きくなったら再び働くほうがよい」の割合が43.6%と最も高く、次いで「子どもができて育児をしながら、ずっと働き続けるほうがよい」が23.4%で続いている。

性別では、女性は「子どもができて育児をしながら、ずっと働き続けるほうがよい」の割合が男性を大きく上回っており、男性は女性に比べ「わからない」の割合が高くなっている。



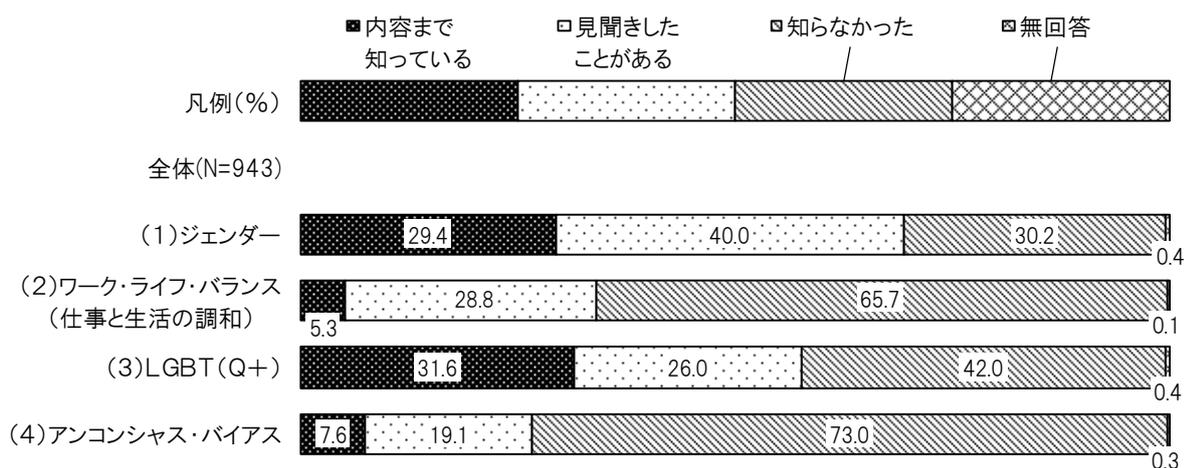
学年別では、2年生で「子どもができて育児をしながら、ずっと働き続けるほうがよい」、3年生で「子どもができたら働くことをやめて、子どもが大きくなったら再び働くほうがよい」の割合がそれぞれ他の学年に比べて高くなっている。

単位 (%)	子どもができたら働くことをやめて、子どもが大きくなったら再び働くほうがよい	子どもができて育児をしながら、ずっと働き続けるほうがよい	子どもができたら、仕事をしないほうがよい	結婚したら、仕事をしないほうがよい	女性は仕事をしないほうがよい	わからない
全体(N=943)	43.6	23.4	3.8	0.8	0.7	27.1
【学年別】						
1年生(n=365)	43.3	20.5	6.3	0.3	0.3	29.0
2年生(n=274)	38.7	27.4	2.6	1.8	0.7	27.7
3年生(n=304)	48.4	23.4	2.0	0.7	1.3	24.3

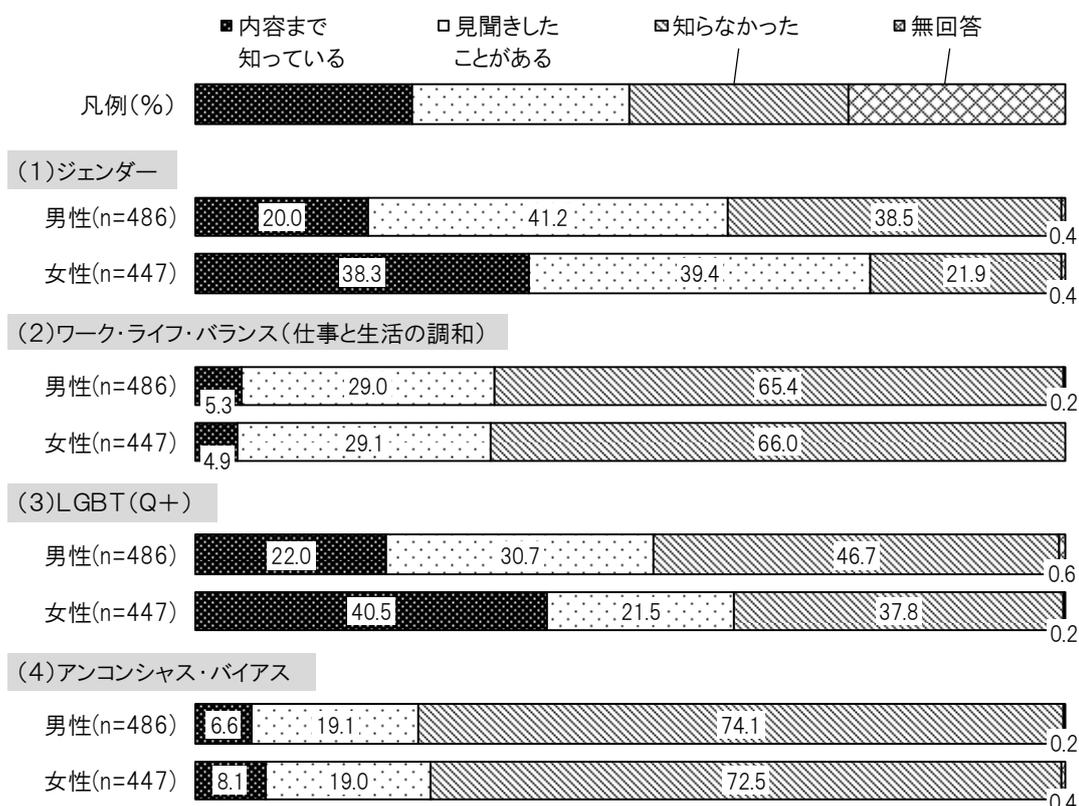
10 男女共同参画に関する用語の認知状況

問 12 あなたは、次の言葉の意味を知っていますか。（回答は1つずつ）

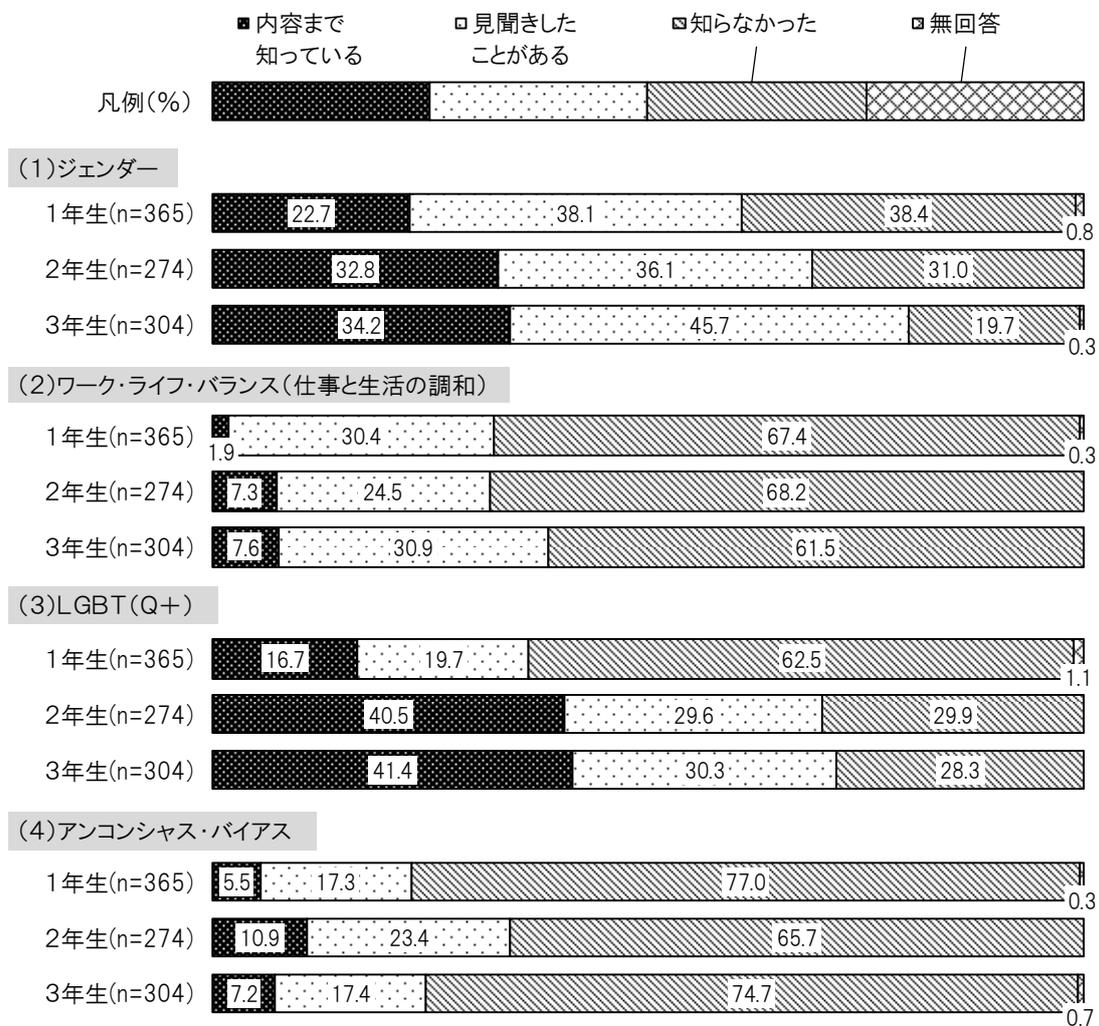
男女共同参画に関する用語の認知状況については、「内容まで知っている」の割合が高い順に「(3) LGBT (Q+)」(31.6%)、「(1) ジェンダー」(29.4%)となっている。一方、「知らなかった」の割合が高い順に「(4) アンコンシャス・バイアス」(73.0%)、「(2) ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和)」(65.7%)となっている。



性別では、女性は「(1) ジェンダー」「(3) LGBT (Q+)」で「内容まで知っている」の割合が男性を大きく上回っており、男性は「知らなかった」の割合が女性を上回っている。



学年別でみると、2年生や3年生では「(1) ジェンダー」「(3) LGBT (Q+)」で「内容まで知っている」の割合が1年生に比べて高くなっている。また、2年生で「(4) アンコンシャス・バイアス」について「内容まで知っている」「見聞きしたことがある」の割合が他の学年に比べて高くなっている。

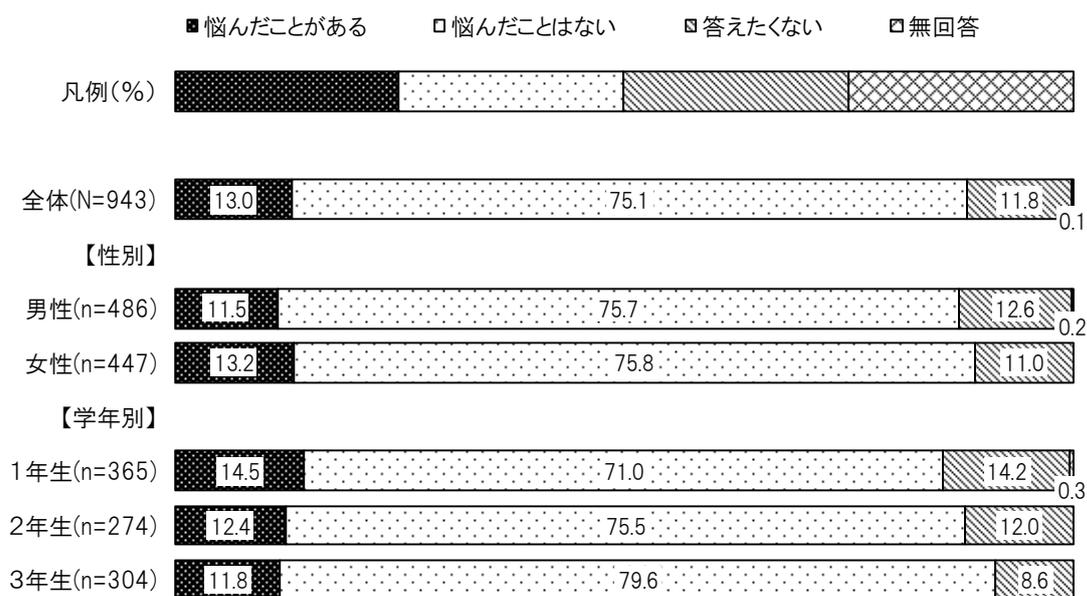


11 性に関して悩んだ経験の有無

問 13 あなたは今までに自分の身体の性、心の性又は恋愛対象の性などで悩んだことがありますか。（回答は1つ）

性に関して悩んだ経験については、「悩んだことがある」が13.0%、「悩んだことはない」が75.1%となっている。

性別では大きな差はみられないが、学年別では1年生で「悩んだことがある」の割合が他の学年に比べてやや高くなっている。



12 男女共同参画社会について（自由記述回答）

問 14 男女共同参画社会を実現するために、必要だと思うことや変えていきたいことなどについて、あなたのアイデアなど自由に書いてください。

男女共同参画社会について自由記述方式で尋ねたところ、以下のような意見がみられた。なお、自由記述については、分野別に抜粋して掲載している。

	分野別項目	回答件数
1	人権の尊重と男女平等意識について	369
2	家庭における男女共同参画について	151
3	働く場における男女共同参画について	142
4	学びの場における男女共同参画について	23
5	性の多様性について	21
6	政策・方針決定過程における男女共同参画について	12
7	その他	29
	合計	747

1 人権の尊重と男女平等意識について

- ・お互いに相手を尊重しあって生きていくことが必要だと思う。
- ・相手に自分の固まった思想を押しつけない。
- ・女子はピンク色、男子は青色という偏見をなくす。
- ・男だから、女だからなどの男女差別をしない。
- ・性別は関係なく、その分野の得意な人が得意なことをしたらいいと思う。

2 家庭における男女共同参画について

- ・結婚したとき、苗字を男性の方に合わせなくてもいいようにする。
- ・子どもがいても共働きができるようにする。
- ・女性が家事をするから男性はしなくてもいいんじゃないかと、一緒に家事をする。
- ・男女共に家事を分担して両方の負担を減らす。
- ・男の人も料理などをできるようにする。

3 働く場における男女共同参画について

- ・性別にかかわらず自由に職業が選べるようにする。
- ・職業選びのときに、男性向きや女性向きなどと表示しない。
- ・男性でも女性でも仕事の量を一緒にする。
- ・男性が早めに仕事を切り上げられるようにし、女性の育児の負担を減らすようにする。
- ・育休を取りやすくする。育休の後に仕事に復帰しやすくする。

4 学びの場における男女共同参画について

- ・制服を男女で分けない。
- ・性別にかかわらず学校の部活を選べるようにする。
- ・性別にかかわらず、自由に進路を決める。
- ・学校での男女比を大体同じくらいにする。
- ・小さい頃から男女差別のことなどについて、学んだほうが良いと思う。

5 性の多様性について

- ・今の日本は、同性同士で付き合えたりはできるけど、結婚はできないからできる社会になってほしい。
- ・性的マイノリティの問題について、大人も子どもも学んだり、考えたりしていく。
- ・性のことで悩んでいる人の話を聞くことが大切なのではないかと思います。
- ・男女を分けるトイレだけではなく、どちらでも使えるトイレの施設を増やす。
- ・性別を一つにして「男性」と「女性」で区別させない。

6 政策・方針決定過程における男女共同参画について

- ・国が男女平等について考えてほしい。
- ・政治の場でも男性と同じくらい女性を増やしたらいいと思う。
- ・女性の政治家をもっと増やしたり、総理大臣を男性ばかりではないようにする。

鳴門市 男女共同参画に関する中学生アンケート

～ アンケートへのご協力をお願い ～

鳴門市では、性別等にかかわらず、誰もが自分らしく、共にいきいきと生きることが
できるまちの実現を目指して取り組んでいます。

このアンケートは、鳴門市の中学校に通う皆さんが日ごろから思っていること、行っ
ていることなどについてお聞きし、これからの男女共同参画社会づくりに向けた計画
の基礎資料とするため、回答をお願いするものです。

調査は、誰が記入したのかわからないよう無記名で行います。テスト
ではありませんので、安心して思ったことを記入してください。

皆さんからいただいた意見を参考に、必要な取組を考えたいと思いま
すので、回答へのご協力をよろしく申し上げます。

令和7（2025）年7月



鳴門市役所

このアンケートはインターネットで行います。

アンケートの答え方

- 1 右の二次元コード又は下記のURLから、インターネットの画面を
開いてください。

https://gyosei.qualtrics.com/jfe/form/SV_0xCtcFwisw1DF4i



- 2 「回答用ウェブサイト」の画面が出たら、協力していただける場合は「アンケート
開始」のボタンをクリックしてください。
- 3 最後に「回答完了」をクリックし「調査へのご協力、誠にありがとうございました。」
の画面が出たら、アンケートはおしまいです。

回答にあたって（必ず読んでください。）

- ・ アンケートには**名前は書きません**。だれが何を答えたかを**知られることはありません**。
- ・ まちがった答えや正しい答えはありませんので、**思ったとおりに**答えてください。
- ・ アンケートは、10分くらいで終わりますので最後までよろしく申し上げます。

このアンケートについての問い合わせ先

鳴門市 人権推進課

〒772-8501 鳴門市撫養町南浜字東浜170番地

電話 (088) 684-1148

メール jinkensuishin@city.naruto.i-tokushima.jp

～ はじめにお読みください ～

男女共同参画社会とは？

性別にかかわらず、一人一人の個性を尊重し、
個人の能力を十分に発揮することができる社会のこと。

男女共同参画社会がめざす将来のイメージ図
男女共同参画が実現された社会をイメージすると・・・

家庭では

- 家事や育児・介護など、男女が協力し、負担がかたよることがありません。
- 家庭生活と、仕事や地域活動とのバランスがとれた、豊かな暮らしが実現されています。



学びの場では

- 男女平等の視点に立った保育や学校教育が推進され、一人一人の個性や能力を伸ばし、社会で活躍できる人を育てています。
- 地域で、誰もが参加しやすい学習の場が整い、男女が共に積極的、主体的に参加しています。



働く場では

- 女性の働く機会が増え、意欲に応じて活躍できる場が広がっています。
- 男性でも育児をする人が増え、出産後も安心して子育てしながら働く女性が増えています。
- 職場や議会など様々な場において、性別にかかわらず意見が反映されています。



地域社会では

- 町内会や地域の活動で、性別にかかわらず意見が反映されています。
- 男女が個性と能力を発揮しながら、地域活動やボランティア活動に積極的に参加しています。
- 人にやさしく、暮らしやすい地域づくりが実現されています。



問1 あなたの学年をお答えください。(回答は1つ)

1 中学1年生	2 中学2年生	3 中学3年生
---------	---------	---------

問2 あなたの性別をお答えください。(回答は1つ)

1 男性	2 女性	3 その他・答えたくない
------	------	--------------

問3 あなたは「男女共同参画社会」という言葉を知っていましたか。又は聞いたことがありましたか。(回答は1つ)

1 知っている(聞いたことがある)	2 知らない(聞いたことはない)
-------------------	------------------

問4 あなたは、次の考え方について、どのように思いますか。(回答は1つずつ)

	賛成	賛成 どちらか かといえ ば	反対 どちらか かといえ ば	反対
(1) 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである (「男は仕事、女は家庭(家事・育児など)」という考え方)	1	2	3	4
(2) 「男は男らしく、女は女らしく」という価値観や考え方	1	2	3	4
(3) 結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない	1	2	3	4
(4) 学校の係の中で男子向き、女子向きの係がある	1	2	3	4
(5) 学級委員長や生徒会長は男子に向いている	1	2	3	4

問5 あなたは、次の分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。次の(1)から(7)までの項目についてお答えください。(回答は1つずつ)

	男性の方が 非常に優遇されている	どちらかといえば男性 の方が優遇されている	平等になっている	どちらかといえば女性 の方が優遇されている	女性の方が 非常に優遇されている	わからない
(1) 家庭生活では	1	2	3	4	5	6
(2) 学校生活では(授業・部活など)	1	2	3	4	5	6
(3) 自治会などの地域活動では	1	2	3	4	5	6
(4) 政治の場では	1	2	3	4	5	6
(5) 法律や制度の上では	1	2	3	4	5	6
(6) 社会通念・慣習・しきたりなどでは	1	2	3	4	5	6
(7) 社会全体では	1	2	3	4	5	6

問6 あなたは、大人から「男だから〇〇しなさい」や「女だから〇〇しなさい」のように言われたことがありますか。(回答は1つ)

1 よく言われる	2 ときどき言われる
3 あまり言われないう→ 問9へお進みください	4 言われたことはない→ 問9へお進みください

【問6で「1～2」と答えた方におたずねします。】

問7 どのようなことについて言われたことがありますか。(回答はあてはまるもの全て)

1 ことばづかい	2 服装や身だしなみ	3 整理整頓
4 家事の手伝い	5 食事のしかた	6 座り方
7 歩き方	8 勉強	9 進路
10 テレビ番組	11 友達関係	12 家に帰る時刻
13 スポーツ	14 お金の使い方	15 泣いたとき
16 その他()		

【問6で「1～2」と答えた方におたずねします。】

問8 あなたはその時どんな気持ちになりましたか。(回答は1つ)

1 いやな気持ちでした	2 そのとおりだと思った
3 何とも思わなかった	4 その他()

問9 あなたの希望する進路は次のうちどれですか。(回答は1つ)

1 中学校まで	2 高等学校まで
3 専門学校・各種学校まで	4 短期大学まで
5 4年制大学まで	6 大学院(6年制大学含む)まで
7 その他()	

問10 あなたは自分のことを文系タイプだと思いますか、理系タイプだと思いますか。(回答は1つ)

1 文系タイプである	2 どちらかといえば文系タイプである
3 どちらかといえば理系タイプである	4 理系タイプである
5 どちらともいえない(両方)	6 わからない

問11 あなたは、どのような女性の働き方が望ましいと思いますか。(回答は1つ)

1 子どもができて育児をしながら、ずっと働き続けるほうがよい
2 子どもができたらか働くことをやめて、子どもが大きくなったら再び働くほうがよい
3 子どもができたら、仕事をしないほうがよい
4 結婚したら、仕事をしないほうがよい
5 女性は仕事をしないほうがよい
6 わからない

問12 あなたは、次の言葉の意味を知っていますか。(回答は1つずつ)

	内容まで 知っている	見聞きした ことがある	知らなかった
(1) ジェンダー しきたりや慣習など、社会的、文化的につくられた性別のこと。	1	2	3
(2) ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和) 「仕事」と「仕事以外の生活(育児や介護、趣味、学習、地域活動等)」とのバランスを取り、その両方を充実させる働き方、生き方のこと。	1	2	3

	内容まで 知っている	見聞きした ことがある	知らなかった
<p>(3) LGBT (Q+) 次の頭文字から表現した言葉で、性の多様性を表す。 「セクシュアル・マイノリティ」とも呼ばれる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ L (レズビアン：女性の同性愛者) ・ G (ゲイ：男性の同性愛者) ・ B (バイセクシュアル：両性愛者) ・ T (トランスジェンダー：生まれついた性とは異なる性で生きる人) ・ Q (クエスチョニング：自認する性が定まらない人などの総称) ・ + (その他) </div>	1	2	3
<p>(4) アンコンシャス・バイアス 無意識のかたよったものの見方、思い込みのこと。例えば「男の子だから黒いランドセル、女の子だから赤いランドセルがよい」「女性は文系、男性は理系」「年をとると、がんこになる」「あの人は外国人だからこうだ」といった、かたよった思い込みのこと。</p>	1	2	3

問 13 あなたは今までに自分の身体の性、心の性又は恋愛対象の性などで悩んだことがありますか。
(回答は1つ)

1 悩んだことがある	2 悩んだことはない	3 答えたくない
------------	------------	----------

問 14 男女共同参画社会を実現するために、必要だと思うことや変えていきたいことなどについて、あなたのアイデアなど自由に書いてください。

(例：性別にかかわらず自由に職業が選べるようになる。男女が一緒に家事をする。)

～ ご協力ありがとうございました ～

鳴門市 男女共同参画に関する中学生アンケート調査
報告書

発 行 / 令和7 (2025) 年8月
発 行 者 / 鳴門市 健康福祉部 人権推進課
〒772-8501 徳島県鳴門市撫養町南浜字東浜 170
電 話 (088) 684-1148
FAX (088) 684-1522
メー ル jinkensuishin@city.naruto.i-tokushima.jp
